

日本語による
近代ギリシャ文学・語学文献目録 (8)

佐藤 りえこ・橘 孝司

井浦 伊知郎

(1998) 「Arvanitika の前置詞を伴う動詞の構造について—北東アッティカ・ボイオティア地方におけるアルバニア語方言と標準語の比較—」『プロピレア』10, 76-87.

石原 昭男

(1998) 「Πολυκατοικία と Μονοκατοικία」『プロピレア』10, 47-49.

浮田 三郎

(1998) 「現代ギリシア語への誘い — 関本至『現代ギリシア文法』と川原拓雄『現代ギリシア語辞典』」『プロピレア』10, 37-38.

梅本 順子

(1998) 「わたしがギリシャ語を学んだテキスト」『プロピレア』10, 46.

小林 節子・梅本 順子

(1999) 訳：ヤニス・リッツォス「月光のソナタ」『エーゲ海学会誌』13, 34-47.

◆Γιάνης Ρίτσος, *Η σονάτα του σεληνοφωτός*.

佐藤 りえこ

(1998) 「アンドニス・サマラキスの『きず』に見られる「笑い」—二つの「笑いの装置」—」『プロピレア』10, 109-124.

志田 信男

(1998) 「ギリシャの詩 —古典から現代まで—」 『プロピレア』 10, 59-75.

鈴木 敦也

(1998) 「ギリシャ国立劇場の歩み」 『プロピレア』 10, 88-108.

須山 岳彦

(1998) 「ギリシア語 メモワール—ある偉大な言語の不実な使徒として—」
『プロピレア』 10, 39-41.

橋 孝司

(1998a) 「ビザンツ民衆文学を読むために」 『プロピレア』 10, 27-36.

(1998b) 訳「アクリティカ歌謡『アンドロニコスの息子』」 『プロピレア』 10,
130-139 ◆ Ακριτικό τραγούδι: Ο Υιός του Ανδρονίκου.

(1999) 「現代ギリシア語」の項目『世界のことば 100 語辞典:ヨーロッパ編』三
省堂.

(2000) 「日本における現代ギリシア文学翻訳—日希修好 100 周年記念シンポジウ
ム発表から—」 『日本ギリシア協会会報』 91, 5-6.

中井 久夫

(1999) 訳: ヤニス・リッツォス「リッツォス詩集 証言 A(2)」

『象形文字』 95, 20-23. ◆ 「感覚の階調」「正午」「鑄型」「夏」

長嶋 善郎・下宮 忠雄

(1999) 『こうすれば話せる 現代ギリシア語』朝日出版社.

西川 千孝

(1999) 訳: コンスタンティノス・ヴァッシス「ラフカディア・ハーンについて
—一人のギリシャ人としての展望—」 『エーゲ海学会誌』 13, 61-78.

◆ Constatinos Bassis, *Lafcadio Hern — A Greek View —*

納戸 セキコ

(1999) 訳: ペピ・ダラキ「鐘の音を聴かなかった人は…」 『エーゲ海学会誌』 13,

48-60. ◆Πεπι Δαρακη, *Οποιος δεν ακούσει την καμπάνα δεν θα ...*

東 千尋

(1999) 訳: アンドレアス・カルカヴィツァス「ゴルゴーナ」『エーゲ海学会誌』13,
29-33. ◆Ανδρέας Καρκαβίτσας, *Η γοργόνα*.

村田 奈々子

(1998) 「250 語でギリシア語が話せるの?—会話帳づくりの裏側—」
『プロピレア』10, 42-44.
(1999) 「ギリシア独立戦争と匪賊クレフテス —コロコトロニスに見る『地
域』と『国家』」
『社会的結合と民衆運動』pp. 283-315、歴史学研究会編、青木書店。

八木橋 正雄

(1998) 「アルベルト・トゥンプ『現代ギリシャ民衆口語ハンドブック』、ルイ・
ルーセル『現代ギリシャ口語文学記述文法』、KEME『現代ギリシャ語
規範文法』『プロピレア』10, 50-54.

山口 喜雄

(1998) 「現代ギリシア語の教科書に思う」『プロピレア』10, 45.

「日本語によるギリシア語学習書リスト」『プロピレア』10, 55-58.